



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION **W** WIZMENS CLUBS 国際協会西日本区  
JAPAN WEST



## YMCAサービス・ユース事業通信 第2号

2017年 11月10日発行

2017-2018年度 西日本区YMCAサービス・ユース事業主任

山川 新一（京都めいぶるクラブ）

事業主題 「YMCAと共に、ユースリーダーと共に

～今、ワイズにできること～

深まりゆく秋こそ、ワイズの“秋！”そのものです。皆さん、日頃はYMCAサービス・ユース事業にご支援ご協力有難うございます。西日本区全部会が、盛会のうちに開催され、大きな成果を得られました。今期の事業は楽しんでおられるでしょうか。YY（Y）フォーラムの計画は進んでいるでしょうか。

### 六甲部 Yサ事業委員の会

9月4日 今年4月に新しくなった神戸YMCAの真新しい会館内の教室で、六甲部の「Yサ事業委員の会」が開催されました。六甲部8クラブのYサ委員長又は、会長と神戸YMCAの井上総主事、各クラブの連絡主事のみなさん、杉本隆人六甲部長、西日本区の大野勉理事にもご出席頂き、まずは理事方針、主任方針の紹介と上野恭男六甲部Yサ・ユース事業主査の方針と計画の説明、そして各クラブのYサ・ユース事業の紹介と今期の方針発表と事業の紹介。流石に六甲部はYMCAとの絆は強く、頼もしい意見を多く聞かせて頂きました。話題は更に今後の六甲部の事業のあり方へと続き、皆さんの熱い思いを感じました。

### 中西部 YYYフォーラム&ボランティアワーク IN 六甲山YMCA

10月7日 今期初のYYYフォーラムは中西部で行われました。朝から小雨交じりの天候で午前の六甲山YMCAの整備・清掃ワークは屋内を中心にユース、ワイズ混成の6班に分かれ、持ち場の清掃にあたりました。ユースは、大阪YMCAの留学生、IHS（インターナショナル・ハイ・スクール）の高校生に参加頂き、一緒にワークする楽しさを感じる事ができました。また夏の間、多くのプログラムが行われたであろうその会館は、秋にむけて多くの出来事を静かに包み込んでいるようにさえ感じました。窓の枠、サッシの溝それぞれに



夏の思い出が残ります。昼食は食堂で高校生たちといただきました。私が高校生だった頃、まだ携帯電話もテレビゲームもなく、それでも毎日ワクワクしながら過ごしていたなあと、彼ら彼女らを見ながら思いました。午後からは、YYYフォーラムです。YMCAからは、今回のブランディングの話がありました。ワイズメンとしても、しっかり理解し共感できなければこれからの活動や会員増強にも影響を及ぼす話です。多くの質問も出てメンバーの真剣さが伝わりました。

留学生からは、代表としてタジキスタンから国費で来日しているアリシェル君の話を聞きました。日本との文化や伝統の違いについて語ってくれました。彼の目には、日本の学生が放課後や休日のアルバイトで日々が充実している様に映っているようです。タジキスタンの若者は休日に何もしないのは、勿体ないと感じているようです。

もう一つ、彼は宗教上食事は肉類は食べないそうです。当日も昼食は、皆でカレーライスをいただきましたが、彼と他に数名は肉抜き野菜カレーを食べていました。午後からのフォーラムでの質問に彼は、「私は、肉が食べられないのではありません。宗教的な事情から食べない様にしているのです。」と答えてくれました。

20歳代の若者が祖国を離れ遠く日本へ来て、日本での多くの友人が自由に肉類を食べる中、流される事なくベジタリアンでいる姿は、我々が考え及ばない宗教観と文化の中で育まれたものなのでしょう。彼は、将来自国へ帰り、自国の人へ「もっと、日本の事を紹介する仕事に就きたい。もっと、国どうしが仲良くなって欲しい。」と語ってくれました。

一方、IHSの子どもたちは、i-cozyという活動を紹介してくれました。東ティモールで栽培されるコーヒー豆を韓国で焙煎加工して、日本でフェアトレードとして販売する、という国際協力ボランティアに取り組んでいるのです。休憩時間に飲ませていただきましたが、香り高く、軽やかな味わいで飲み易い印象でした。まだ、輸入量も少なくボランティア色の強い取り組みでしたが、ワイズとの出会いでもっと、他の展開もある様に感じました。フォーラム終了後は、皆でデッキに出てBBQを楽しみました。歌あり、楽器ありで楽しい時間でした。



## 阪和部、中西部 大阪YMCA インターナショナルチャリティーラン

10月15日 フォーラムに続き今週は大阪YMCAのチャリティーランが鶴見緑地公園で開催されました。朝から低い雲が空を覆っていましたが、雨はまだ降っていません。開会式を終



えると雨の気配にせかされる様にレースプログラムが進みます。それぞれのレースで各ユースリーダー達もチームの為に懸命に走ります。ワイズのチームも楽しそうに走っていました。コースサイドから仲間の声援が飛び交う中、ランナーは黙々と前だけを見つめて走ります。その姿は、どんな事にも手を抜かず何事にも真摯に取り組むワイズ精神そのものです。本部横のテントでは、YMCAの新しいロゴの入ったTシャツを販売しているユースリーダーや運営、招集、計測とそれぞれの役割をワイズ、ユース共に力を合わせて行っています。グループランでは、チームそれぞれの工夫を凝らしたコスチュームで楽しそうに走る姿が見られました。午後からは、雨も激しくなり抽選会。そして閉会式となりました。閉会式終了後、堺YMCAのユースリーダー達と交流しました。当日、ご参加のランナー、応援のご家族みなさん、朝早くから準備いただいた大阪YMCAの職員の方々、ユースリーダー、そしてワイズメン、メネットのみなさんお疲れさまでした。素晴らしいチャリティーランでした。



## 西日本区 各部部会

9月10日の京都部会を皮切りに、各部の部会が始まりました。それぞれの部の特徴を活かした、楽しく有意義な部会でした。そして多くの部でタイトなスケジュールの中、主任報告の機会を与えていただき、誠に有難うございました。心から感謝いたします。YMCAサービス・ユース事業としては、2018年8月6日～12日の国際ユースコンボケーション（IYC）の参加者推薦のお願いとYサ・ユース献金2018年3月15日締め切り（2,000円/人）のアピールをさせて頂きました。

---

## <Yサ・ユース献金>

今期、目標献金額は2,000円/人となっています。人数の算定は期首（7月1日）の半年報記載人数です。この献金は、国際アレキサンダー奨学金や日本YMCA同盟実施の青少年育成プログラム、ユースコンボケーションに代表されるユースに対する活動支援、YY（Y）フォーラム支援金、各部、各クラブで行われるYMCAサービスプログラムの事業資金援助にあてられます。是非、皆さんの温かいご支援ご協力を宜しくお願いします。

---